



署名期間：10月4日～11月3日



10月3日夜、きゅりあんイベントホールにてスタート集会を開催。



大井町駅前、西大井駅前、大崎駅前など連日各駅で署名運動。

住民投票を成功させよう 羽田新ルートを問う品川区民投票の 署名が、いよいよラストスパーク

署名にご協力を

幅広い市民でつくられた「品川区民投票を成功させる会」は10月3日、羽田新ルートを問う区民投票のスタート集会を大井町駅前きゅりあんにて開催し、一カ月間の法定署名を開始しました。

この取り組みは地方自治法に基づく条例制定直接請求で、一カ月間の間に規定に沿って定められた署名を集め、羽田新ルートの賛否を区民に問う住民投票条例の制定を求めるものです。

スタート集会には議会から共産、ネット、立憲、

無所属ら超党派の議員が参加し紹介されました。

住民投票の成功を

騒音、落下物、万が一の墜落事故に不安の声が寄せられる羽田新ルートが今年3月末より本格運用。午後3時を過ぎると繰り返し羽田空港に着陸する旅客機が都心・品川を超低空飛行しています。

計画実施の記者会見で国交大臣は「地元の理解は得られたと判断」と説明。しかし品川区民は計画への賛否を問われたことは一度もなく「理解が得られた」とはあまりに勝手な判断です。裏



安倍政権から菅政権に引き継がれた羽田新ルート。被害をこうむる品川区民に問うことなく実施された計画に対し、住民投票を成功させて政策決定に区民の民意を反映させようと署名運動が各地で広がっています。

家族や友達に署名を広げる方、駅前で署名に取り組む方など、署名期日の11月3日までのいよいよラストスパートです。

ちなみに、この署名は法律の定めに基づく署名様式のため、名前、住所、生年月日、記載日、押印又は母印などが必用で、不備があると無効とされます。十分に気をつけて下さい。

投票実施へ

3つのハードル

住民投票の実施には3つのハードルがあります。

1つ目は有権者50分の1（7000筆）以上の署名を集める事です。「会」では3倍の署名数を目標にしています。

2つ目には品川区議会の過半数（20名）以上の賛成で議案を可決させることです。

現在のところ、賛同を表明している品川区議は、まだ過半数を超えておらず、議会へのロビー活動もとても重要です。

3つ目には多くの方に投票して頂くことです。

多くのご協力を

当面は、多くの有効署名集める事と、区議会過半数の賛同を得て、可決させることがカギとなります。その為にはさらに多くのご協力が必要です。

ご一緒に力をあわせ、何としても住民投票を成功させましょう。

台風、立会川、目黒川など河川の氾濫、ゲリラ豪雨など豪雨災害から区民を守る防災計画を

10月2日から約2週間の日程で、品川区議会では決算委員会が開かれました。この中で、激甚化する豪雨災害への対策強化を取り上げました。

地球規模の気候変動を背景に、日本でも巨大な台風が発生し河川が氾濫するなど各地で豪雨災害が起きています。防災訓練というと、地震や火災を思い浮かべる方も多いかもしれませんが、海に近く、高低差の多い品川区内では水害対策も重要です。

昨年は、初めて台風接近を受けて自主避難施設が開設されました。自宅避難の不安な方が対象ですが、大井・西大井地域では自主避難施設は伊藤学園となり、地震と異なり最寄りの学校ではありません。また、施設の運営も地震と異なり、住民ではなく区職員となります。

区議会では避難行動への支援や情報提供、避難所環境の改善等を提案しました。なかつか亮



なかつか亮 1975年西大井生まれ／45歳／伊藤小、富士見台中、農大一校卒／イタリア料理厨房6年／27歳初当選／区議5期／予算・決算委員会副委員長、行革特別委員会委員長を経験／党区議団幹事長／家族：妻／29号線取消裁判原告／趣味：旅行 

なかつか亮の駅前宣伝 火曜日朝7時半～大井町駅、金曜日朝7時半～西大井駅、土曜日夕方4時～大井町駅
スタッフ募集：区政報告を駅前宣伝で配付して頂ける方を探しています。少しの時間だけでも助かります。